

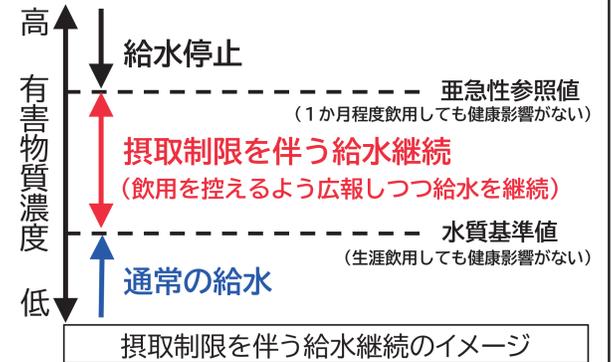
水源水質異常に伴う危機管理対策本部訓練の実施

名古屋市上下水道局

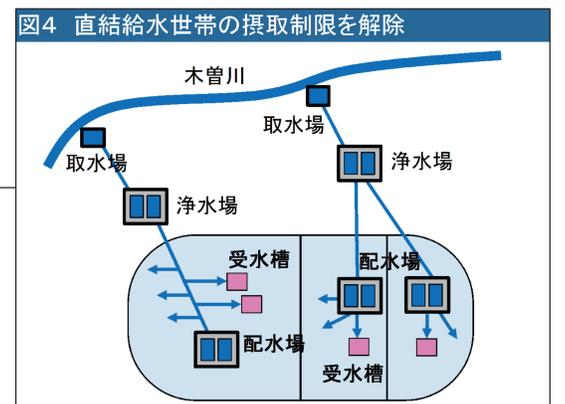
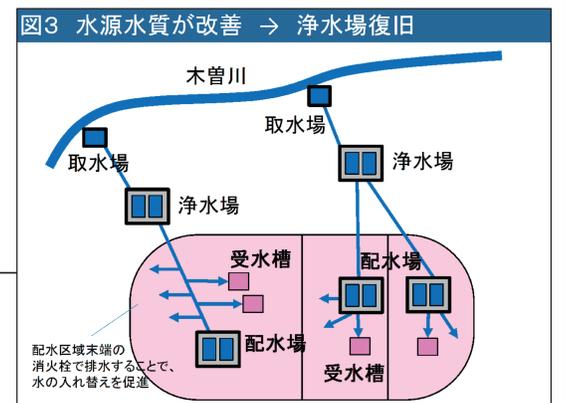
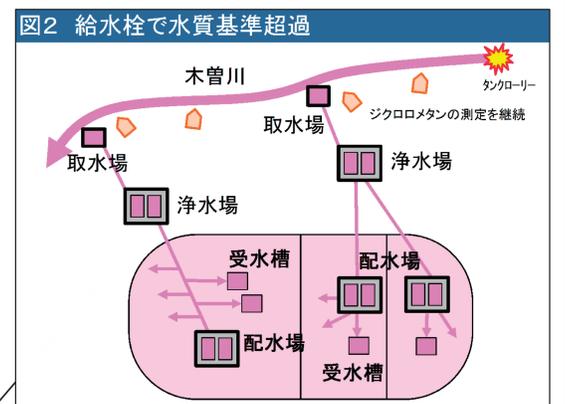
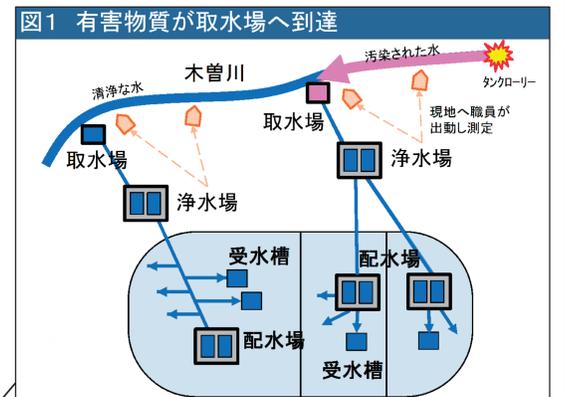
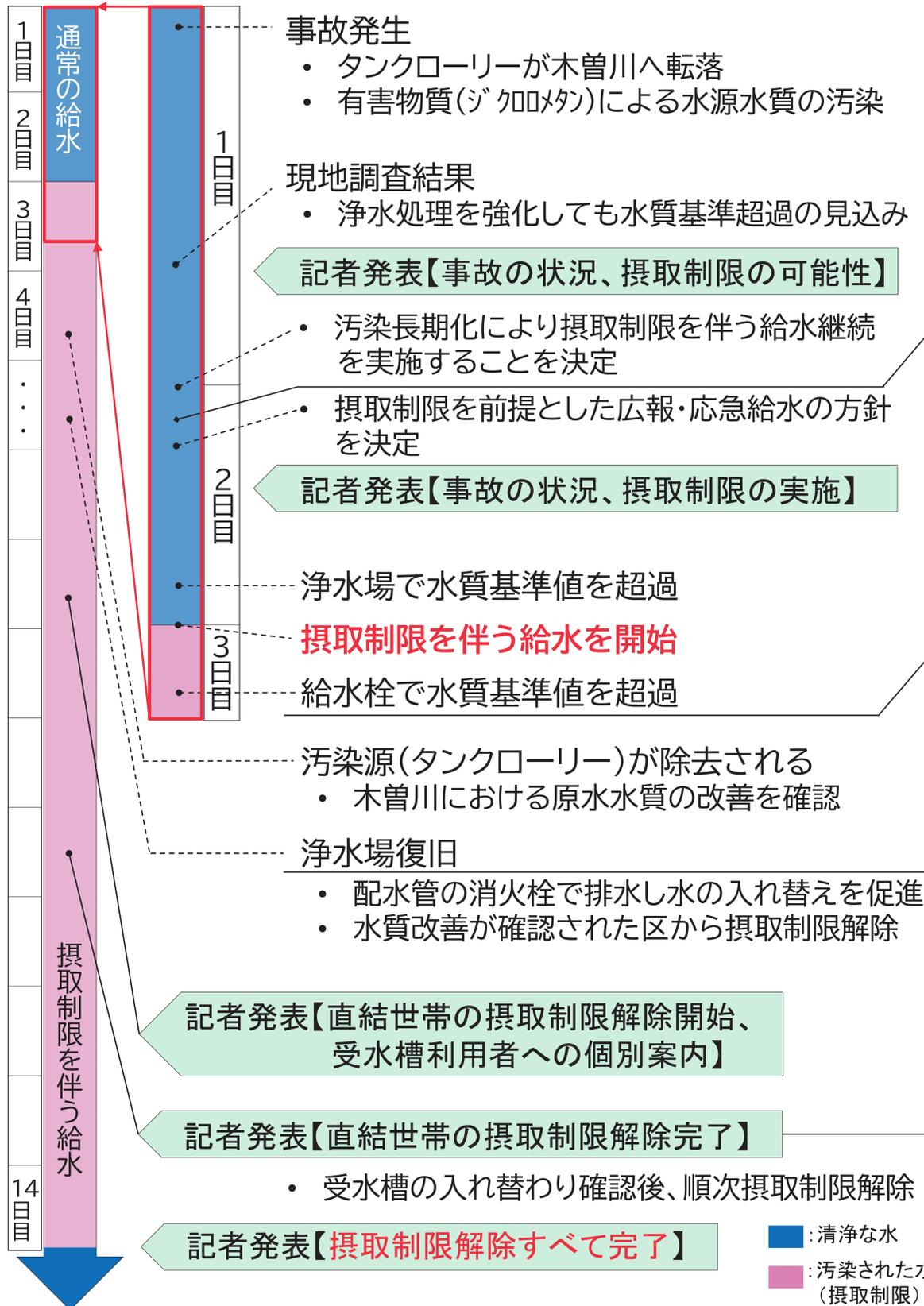
名古屋市上下水道局では、本市の水源である木曾川で重大な水質事故が発生した場合に『**摂取制限を伴う給水継続**』で対応する事態を想定した**危機管理対策本部訓練**を実施しました。

ポイント

- 名古屋市水安全計画に基づき、水質事故の発生から通常の給水が回復するまでの全期間を対象とした訓練を実施しました。
- 水道システム全体の状況が刻々と変化の中で、『**摂取制限を**お願いしつつ給水を継続する』というお客さまへの広報活動の**困難さ**を伴う対応方法について検討を重ねました。
- 広範囲に渡る**当局が実施すべき一連の対応の全てを再現し、関係部署の連携を確認**しました。



訓練概要



取組の効果

- 訓練を通じて水源水質異常が発見されてから蛇口での安全性が確認されるまでの**一連の対応を整理し、お客さまへの広報活動の在り方や応急給水活動の制約への対応など様々な課題を認識**することができた。
 - 情報提供のタイミング、内容を精査
 - 摂取制限解除時に混乱を招かない情報提供方法の検討
 - 他事業体やマスコミの報道によるお客さまへの影響を考慮
 - (制約): 拠点給水が活用できない
 - 他都市への給水車応援依頼による対応を想定
 - 物資供給協定による販売店での飲料水流通量の確保依頼を想定
- 関係各課で訓練シナリオを作成する過程において、実践的な対応策を検討するなど**職員の水質異常対応のレベルアップ**が図られた。